



アカウミガメの保存活動の取り組み

岡垣ウミガメ倶楽部



海がめもかえる町



“海がめもかえる町”というキャッチフレーズには、私たちの町は、町民にとっても、アカウミガメにとっても「かけがえのないふるさと」であり、ふるさとの心を育むために大切に守り、育てたいという願いが込められています。

町のシンボル～三里松原～



江戸時代、北風による農作物への塩害を防ぐために、防風林として植林された。

延長(町内) 約6 km

最大幅 約1.3 km

総面積 約430 ha

海岸清掃活動



ラブアース・クリーンアップ

(毎年6月第1日曜日、住民・企業・団体など参加)



クリーンアップ・サンリー海岸

(毎年10月実施、町内小中学生)

産卵・旅立ちへの障害



タイヤの跡



波打ち際近くの浜崖

産卵地を守る啓発

自然保護ボランティアファンド助成事業による啓発看板の設置



砂浜への入口に設置した啓発看板



車両乗り入れ地域に設置した三角柱の看板

アカウミガメの生態

アカウミガメ 甲羅の長さ:65cm ~ 1m 体重:70kg ~ 180kg

1頭が1シーズンで産卵する回数は、1回 ~ 5回

1回の産卵数は 70個 ~ 150個



アカウミガメの足跡と産卵場所



アカウミガメの卵

防護柵の設置



産卵地点を守る防護柵 (砂中で子ガメ達が動く音の確認作業)

子ガメ達の旅立ち

子ガメ達は、卵の殻を破ってすぐに砂の中から出てきません。
砂の中で、他の卵から出てくる兄弟を待ちます。
そして、砂の中の温度を感じて、
夜になるのを待ちます。

産卵から約60日前後で、子ガメ達
は一斉に大海原に旅立ちます。



子ガメ達の旅立ち（平成22年8月25日）

子ガメ達の旅立ち観察会

カメラから映像を離れた地点に送って、孵化が開始するまでは、そこで産卵場所の状況を見学します。

子ガメが砂から出てくるまで、映像で産卵場所を見学します。

子ガメ達が砂から出てくると、産卵場所に見学者を誘導して、海に旅立つ姿を見学します。

海に向かって砂浜を歩いて行く子ガメ達に、見学している子ども達が「がんばれ！」と声をかけています。



上陸・産卵と孵化の記録 (産卵・孵化 計13回)

産卵年月日	産卵個数	孵化年月日	孵化個数	孵化率	孵化までの日数
平成 4年7月17日	120個	平成 4年9月22日	84個	70%	67日
平成 6年6月28日	100個	平成 6年8月21日	91個	91%	54日
平成 6年7月15日	140個	平成 6年9月10日	135個	96%	57日
平成 6年7月26日	128個	平成 6年9月22日	100個	78%	58日
平成 8年6月28日	114個	平成 8年8月21日	109個	96%	54日
平成 8年7月 8日	125個	平成 8年9月 3日	95個	76%	57日
平成11年7月 7日	111個	平成11年9月15日	102個	92%	70日
平成15年7月 4日	産卵なし				
平成17年7月 7日	85個	平成17年8月31日～9月1日	74個	87%	54日
平成18年7月14日	111個	平成18年9月 2日	91個	82%	51日
平成19年6月15日	95個	平成19年8月25日	81個	85%	71日
平成21年6月22日	120個	平成21年8月21日	112個	93%	60日
平成21年7月13日	141個	平成21年9月14日	137個	97%	63日
平成22年7月 7日	98個	平成22年8月25日	84個	86%	50日